

まちづくりの芽(長期的取り組み)

## ファイル1 通過交通

### 【現況・課題と解決の方向性(案)】

通過交通による危険、騒音、ポイ捨てに長年悩まされている粟野地区。抜本的な対策、例えば山県ICと畜産センターをつなぐアクセス道路整備は、観光面からも岐阜市に有益と思われます。

◀散歩も危険な狭隘道路を飛ばす車両。国道 256 号線の高架が正面上部に見えるが、三輪、山県市～金華橋、忠節橋方面の通過車両が時間的に短縮されるため、国道ではなく当該道路を利用する。

◀申し訳程度の歩行者用の白線内を歩いても、カーブする場所では、車が向かってくる。

◀粟野台の団地からの小学生の通学路は別ルートが定められているが、日常生活では子どもたちも横断せざるを得ない。また、中学校へは、ラッシュ時にこの四叉路を横断せざるを得ない。小・中学生から寄せられたまちづくりアンケートにも、危険性の指摘がある。

▼四叉路から少し西の道路に設置された「歩行者注意」の看板が、倒れ掛かっている。車が接触したと考えられる。

【経緯】自治会連合会から市長要望されている事案(平成 30 年 10 月 17 日・北部コミセンにて)